

## 情報公開文書

研究の名称	気管支鏡検査の診断能と採取検体の腫瘍細胞含有率に影響を及ぼす因子の検討
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	内科学（一）准教授 猪又峰彦
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p><b>【研究の目的・方法】</b> 近年の肺癌診療は新規薬剤の出現により個別化医療が標準となっています。それに伴い気管支鏡検査には確実な診断だけでなく、腫瘍細胞を多く多く含む質の良い検体を採取することも求められるようになりました。本研究ではどのような背景因子や手技条件が診断成功や質の良い検体採取に関わるのか検討するためにカルテ情報の収集と解析を行います。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日～2027年3月31日</p> <p><b>【研究対象者】</b> 富山大学附属病院で診療を受け、以下の基準を満たす方を対象とします。 ① 2021年1月から2025年6月に肺癌疑いで気管支鏡検査をうけた方。 ② 肺病変に対して鉗子を用いた組織採取(生検)を計画・実施された方。</p> <p><b>【研究資金、利益相反の状況】</b> ※当該研究における研究資金および利益相反状況について記載</p> <p><b>【個人情報の取扱い】</b> 患者さんのカルテ情報を研究に用います。個人情報が漏えいしないよう、氏名やカルテ番号などは消去します。</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 呼吸器内科学または腫瘍学に関連した医学雑誌並びに学会での発表を予定しています。</p> <p><b>【試料・情報の他機関への提供有無】</b> 無し</p> <p><b>【外国にある者への提供について】</b> 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p><b>【試料・情報の項目】</b> 本研究では、年齢、性別、身長、体重、実施手技、使用機器、肺病変の性状、血液検査所見、肺癌組織型などの診療情報を富山大学第一内科に集約し研究に使用します。富山大学から他機関へのさらなる情報提供はありません</p>
③利用又は提供を開始	<p><b>【利用又は提供を開始する予定日】</b></p>

する予定日	実施許可日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院
⑤提供する試料・情報の取得の方法	診療の中で得られた情報を研究に用います。
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院長 山本善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。  電話 076-434-7287 担当者所属・氏名 富山大学内科学（一）准教授 猪又峰彦 電話番号： E-mail：minomata@med.u-toyama.ac.jp